

平成 27 年 5 月

## 寺田縄の石仏探訪シリーズ（最終回）

寺田縄地区内の寺社や路傍にまつられている石造物（以下石仏と呼称）は約 50 基あります。最終回（4 回目）は道祖神と屋敷内に祀られている諸神などを紹介します。

### （1）道祖神

道祖神<sup>どうそじん</sup>は地蔵、庚申塔とともに代表的な石仏です。道祖神は村全体とか集落ごとに祀られ、その信仰は疫病神<sup>やくびょうがみ</sup>の侵入を防ぎ、良縁と子授け、豊作祈願、旅の安全など地域の人々の生活を見守って下さる神様と云えます。

寺田縄には以下の 3 基あり、いずれも石祠型<sup>せきし</sup>のものです。市内には 280 基の道祖神があり、正面に道祖神と彫った文字塔 40%、二神<sup>にしん</sup>が並んだ双体像<sup>そうたいぞう</sup>36%が代表的なものでそのほかでは単体像（8%）、石祠型（7%）、五輪・宝篋印塔<sup>ほうきょういんとう</sup>（6%）と続き自然石だけのものもあります。

金田地区では 1 月 14 日に近い祝祭日に道祖神のお祭りであるドンド焼きは道祖神に集められた、お正月の注連飾り<sup>しめかざ</sup>や古い御札を炊き上げ団子を焼いて食べると風邪や虫歯にかからないと云われています。その時に焼く三色の団子は公民館行事の一環として「親子団子づくり」の講習会も開かれています。

ドンド焼きの終わった後に正月のお飾り、御札、合格祈願の絵馬などを道祖神にお返しする人がいますが、これらは平塚八幡宮で年間を通して社務所の受付で引き取って頂けますのでご利益を頂いた各人が八幡宮に返納して下さい。



①日枝神社参道前路傍



②入野に通じる寺田縄 243 の路傍



③あさつゆ広場南東の角

## (2) 動物の供養塔

「供養」とは故人や先祖の霊に諸物を供へ冥福を祈る行為ですが家畜の供養のために建てられた動物供養塔 2 基があります。



①えのしろ公園の蓄霊塔

左の蓄霊塔は中郡畜産組合が昭和 8 年に食用に供された家畜の鎮魂のため手洗石と一緒に造立されました。

右の「霞号之碑」は昭和 12 年に石塚氏が造立、同馬は軍馬に供された後、農耕馬として県内、関東大会の競技会で一等を取ったことなどを記した顕彰碑です。



②あさつゆ広場の霞号供養塔

## (3) 諸神

寺田縄には次のような珍しい石仏や木祠が祀られていますので紹介致します。①の水神は寺田縄 219 の石塚家の西側の塀に食い込んで祀られています。明治 12 年の紀年銘と高橋、石塚、井出、小泉、二宮、中寫の記名があり、最近まで水神講が行われていたとのこと。②の稲荷社は木祠で寺田縄 153 の二宮家の西に祀られイボ取り稲荷として地域の人々がお参りしていたと聞いています。③の弁財天は寺田縄 197 の二宮家が江の島より勧請されたものです。農業神としての水の神か芸能神として迎えられたかははっきりしないようですが、今も大切に祀られています。このほか寺田縄には熊野神社、琴平神社なども屋敷内に祀ってある家もあります。



① 6 氏姓を彫った水神



②二宮一族が祀るイボ取り稲荷



③二宮家の敷地内の弁財天

参考文献：・平塚市博物館 2014 年『平塚の石仏 3058 の祈りと願い』  
・平塚市博物館 2013 年『平塚の石仏 改訂版 8 金田地区編』

以上